



ナミビアは若年層による望まない妊娠が非常に多く、誰もが安全な避妊手段にアクセスできることは、同国の貧困削減にも大きく寄与します。定本臨時代理大使はスピーチの中で、日本政府は、UNFPA を通じて、誰一人取り残さないプロジェクトに約 463,000 米ドルの資金を提供し、脆弱な女性や少女、特に障害を持って生活している女性や少女、妊娠中や授乳中の女性、性的暴力やジェンダーに基づく暴力を受けやすいその他のグループなどに焦点を当てており、このキャンペーンを通じて避妊および生殖に関する健康キットを引き渡す旨述べました。これに対し、シャングラ保健・社会サービス大臣は、ナミビア国民、特に女性と女兒に包括的で質の高い性と生殖に関する健康サービスを確実に提供するための政府の取り組みを継続的に補完している UNFPA や日本政府の支援に感謝する旨述べました。今回の UNFPA を通じた日本の支援により、ナミビア国内の 70,000 万人余りの女性たちが裨益する見込みです。

